

# 栃木医療センター 広報誌

No.  
59

理 念  
信 頼 貢 献 協 働



## Contents

- 部門紹介（地域医療連携室）…………… 1・2
- 連携医紹介（加瀬医院）…………… 6
- 2つの災害訓練に参加しました …… 3・4
- マイナ保険証の登録はお済みですか？/交通のご案内 …… 裏表紙
- 診療科紹介（外科）…………… 5

# 地域医療連携室のご紹介



地域医療連携室長 石井 とも

地域医療連携室は、地域の皆様が安心して医療を受けられるよう、近隣の医療機関と連携して、患者さん一人ひとりに最適な支援を提供することを目的としています。医師、看護師長、事務職員で構成され、総合相談室に所属する医療ソーシャルワーカーや看護師と協力しながら業務にあたっています。医療機関から当院への入院加療の要請や専門的な診察・検査依頼へ対応し、治療や検査を終えた患者さんが紹介元のかかりつけ医にスムーズに戻れるようなサポートをしています。

具体的には、近隣の医療機関からの紹介患者さんに関する電話対応を中心に、緊急対応が必要な場合の受診までの調整、診療情報の提供や取り寄せを行っています。その他にも、MRI・CT・超音波・内視鏡検査などの大型医療機器の共同利用、管理栄養士による栄養食事指導の予約、連携医との医学的知識の交換の場となるセミナーの開催などを行っています。

同じ病院で勤務を続けていると、自らの環境を客観的に評価することはなかなか難しいものです。内外の連携をより円滑に進めていくために、患者さんや地域の医療関係の皆様から、「こういうところが不便だった」「こうして欲しい」など、積極的にご意見を頂ければと思っております。今後も地域医療の連携体制をより強化し、医療機関同士で協力しながら、患者さんにとってより良い医療環境を提供できるよう努力してまいります。ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



## 地域医療連携係長 佐藤 博子

地域医療連携室は、栃木医療センターが地域の先生方や患者さん、医療機関や介護施設等をつなげるパイプ役として、地域医療に貢献できるよう活動しています。地域のかかりつけ医との顔の見える連携を意識して、協力しながら業務を行っております。

前方連携として、紹介患者さんをスムーズにお受入れするための調整や、地域の先生方と当院をつなぐ連携の窓口としての役割を担っています。また、地域の先生方を直接訪問し、お話を聞かせていただくこともございます。

当院へのご意見・ご要望も承っておりますので、何かございましたらお気軽に地域医療連携室までお問い合わせください。円滑な連携業務を行えるよう、丁寧で迅速な対応を心がけ、地域医療連携の一翼を担えるよう努めてまいります。

### 【地域の医療機関から予約可能な診療科】

- ◎循環器内科（虚血性心疾患・心不全・末梢血管疾患 等）
- ◎外科（消化器外科領域・血管外科領域・乳がん 等）
- ◎整形外科（手根管症候群・肘部管症候群・麻痺手・股関節・膝関節 等）
- ◎脳神経外科（脳血管障害・脳腫瘍・脳脊髄圧減少症 等）
- ◎小児外科・小児泌尿器科      ◎皮膚科      ◎眼科      ◎消化器内科
- ◎婦人科      ◎歯科口腔外科

# 2つの災害訓練に参加しました

診療情報管理士 山崎 大輔

## ◆ 院内災害訓練

2025年2月26日（水）、病院内で災害訓練を実施しました。今回の訓練は、茨城県沖を震源とする最大震度7、宇都宮市内は震度6弱の想定で行いました。災害対策本部の立ち上げから病院としての方針決定までを目的とするもので、当日は30名以上の職員が参加しました。

訓練は災害対策マニュアルに則り、災害対策本部設置の後に災害時用の組織図を作成し、指揮命令系統を確立することから始めました。次に、患者さんと職員の安全を確保するため、病院設備や周辺状況の確認など、災害関係の情報収集を行いました。そして、収集した情報を元に当院がどこまでの医療を提供できるか、被災者の受け入れ対応が可能かどうかなど、本部長（院長）が当院の活動方針を決定し、訓練を終えました。

今回の訓練で分かった課題としては、災害対策本部の設置に想定以上の時間を要してしまったことが挙げられます。物品や機器の不足、所在や使い方が把握できていないことなどが原因でしたが、災害が起こる前に課題が共有できたことは、大きな成果でした。

災害拠点病院としての責務を負う病院として、地域の災害医療に貢献できるよう、このような訓練や研修を定期的に行い、日頃から災害に対する備えを万全にするよう努めています。



## ◆ DMAT（ディーマット）訓練

2025年3月、群馬県主催で実施された令和6年度関東ブロックDMAT訓練に、栃木医療センターDMATとして参加しました。DMATとは、災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team）の略で、大規模災害や事故などの現場で医療活動を行うチームのことです。医師1名、看護師2名、事務職員1名の4名でチームを組んで活動しました。

今回の訓練は、21時に首都圏直下型地震が発災した想定で実施され、当院が派遣された群馬大学医学部附属病院（前橋市）は最大震度6強の想定でした。訓練内容は、当院と群馬大学医学部附属病院を含む災害派遣5病院による、県央北地域のDMAT活動拠点本部の設営・運営でした。

活動拠点本部運営の役割は、本部運営、情報分析、活動指揮、搬送調整および物資支援の大きく5つに分けられ、当院は情報分析を担当しました。主な活動は、交通情報などの被災情報全般と前橋市にある医療機関の被災状況の情報収集でした。各情報網から情報収集を行い、厚生労働省共有システムへの入力、関係各所への情報共有に関する医療支援活動などを行いました。

今回の訓練では、混乱や情報の錯綜などもあり、情報を取り扱うことの難しさを改めて実感しました。当院DMATは、今後も大規模災害に対応する訓練を重ね、有事の際には被災地に貢献できるよう努力していきます。



診療科

紹介

# 外科

外科部長・病棟診療部長 尾曲 健司

## 当科の取り組み

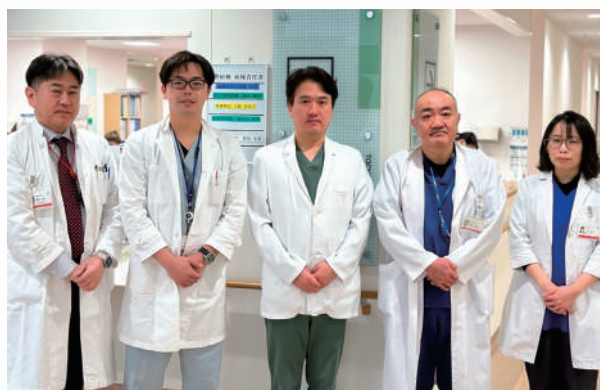
当院の外科は、上部消化管、下部消化管、<sup>かんたんすい</sup>肝胆膵の3領域を専門とする常勤医が揃い、各医師が専門性を十分に発揮できるよう診療体制を整えております。外科の本分は悪性疾患の治療であり、当科はこれまで以上に各悪性腫瘍の診療に力を入れております。

上部消化管領域では、基本術式として<sup>ふくくうきょう</sup>腹腔鏡下胃切除術を行い、縮小手術が可能なら腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）を、高度進行例では開腹手術をというように、必要に応じて様々な治療法から最適な治療を選択することが可能です。下部消化管領域でも、<sup>がん</sup>鏡視下手術を標準術式として行っております。近年は大腸癌症例が増加し、担当専門医・パラメディカルとも大変充実して診療に当たっております。

肝胆膵領域では、2024年度より肝胆膵外科高度技能専門医修練施設Bの承認を得ました。これは全国でも約250施設しかなく、栃木県では2つの大学病院・がん専門病院を除くと2病院のみが承認を得られている、肝胆膵領域のハイボリュームセンターです。このため、当院の肝胆膵悪性疾患症例も増加しております。肝細胞癌、胆道癌、膵臓癌に対しては、拡大手術を含め積極的に切除術を行っております。この分野でも鏡視下手術を導入し、小型肝腫瘍であれば腹腔鏡下肝部分切除術を、膵腫瘍では低悪性度腫瘍や良性疾患に対しては腹腔鏡下膵切除術を積極的に行っています。

当科では化学療法も担当しております。外科が薬物治療を行うことにより、術前化学療法の適応や術後補助療法の是非などをシームレスに決定することができ、患者さんにも一貫性を持った治療方針を提示することが可能です。乳腺疾患においては、非常勤医師が当院特有のセミオープン手術室制度を利用し、年間70～80件の乳癌手術を行っています。化学療法・ホルモン療法は常勤医が行っており、術後のフォローアップ体制も十分整っております。

当院最大の利点は、消化器内科をはじめとした他科やスタッフとの垣根のない共同診療体制です。患者さん一人一人の診療を大切に、全病院をあげて診療に臨んでおります。



## 連携医紹介

### 加瀬医院

院長 **かせ のりお**  
**加瀬 知男**

当院は、昭和45年（1970年）4月1日、私の父である加瀬昭一郎が現在の地に開院致しました。開院当初は、いわゆる「何でも診る医者」として診療しておりましたが、私の代になり、内科（一般内科、糖尿病内科）、小児科を中心とした診療体制で、地域に根ざした医療提供を目標に現在診療を行っております。

栃木医療センターには、当院より車で10～15分ほど（救急車なら7～8分ほど）の距離という事もあり、内科系、外科系、小児科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、歯科口腔外科・小児歯科等、多くの診療科の先生方に日頃から大変お世話になっております。令和5年4月から副院長（私の長男で糖尿病専門医）も常勤医として診療に加わり、さらに令和6年4月より私の娘婿（内科系）も非常勤ではありますが協力していただいております。医院のスタッフは7名（看護師2名、医療事務4名、パート1名）で、患者さまに、より充実した医療提供が出来るよう努力しております。

今後は、一般診療は当然の事ですが、糖尿病に対して専門性の高い診療を行っていきたいと考えております。栃木医療センターには、これからも多方面にわたりお世話になると思いますので、宜しくお願い致します。



### ご案内

<https://www.kaseiin.com>

| 診療時間             | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 9:00 ～ 12:00  | ● | ● | ● | × | ● | ● | × |
| 午後 14:00 ～ 18:00 | ● | ● | ● | × | ● | × | × |

※休診日：木曜日・日曜日・祝日・第3土曜日

※土曜日は12:30までです。



〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生2-2-7

TEL 028-622-2174

2024年12月2日より、従来の健康保険証は新たに発行されなくなり、健康保険証を利用登録したマイナンバーカード（以下、「マイナ保険証」）の使用が原則となりました。当院でも専用端末を設置しています。従来の健康保険証は、有効期限まで最長1年間使用できますが、マイナ保険証を利用すると次のようなメリットがあります。